

ボジョレー速報 2015 年

今年もボジョレーヌーヴォーの季節がやってくる！

2015 年は、フランス全土が初夏から記録的な猛暑と農作物に深刻な被害をもたらすほどの日照りが続いている。6 月の中旬まで病気ひとつない完璧な状態を保っていたブドウも、さすがに暑さと水不足でかなりバテ気味な様子。ここで天の恵みのひと雨がほしいところだが…。

カリーム、ジャン、フレッド&ケヴィンの現在の心境はいかに！

★カリーム・ヴィオネ

今年の収穫日は今のところ 9 月 2 日頃を予定している。

8 月に入った現在もなお日中の気温が 36 度を超える異常な猛暑が続いている。8 月 4 日の朝に、久しぶりに雷雨にわか雨の予報が出ていたのだが、いざふたを開けてみると道路を少し濡らす程度の雨しか降らず、午後畑に出た時にはすでにカラカラに干上がっていた。7 月から今までの降雨量が 15 mm も達していなく、畑のまわりの雑草もまるで除草剤を撒いたかのように枯れ果てている。今年は水不足を補うために土起こし作業に力を入れたが（カリーム曰く、土起こしや畑を耕すことは、植物にとって水を与えたのと同じ効果があるとのこと）、ここまで乾燥していると効果にも限界がある。ヴェレゾン開始が 7 月下旬と例年よりも 2 週間ほど早かったが、この猛暑の影響で房ごとの色付きも成熟度合いもまばら…成長に少しブレーキがかかっているのがうかがえる。ただ、バテ気味とはいえ、ブドウ自体はまだ健全で果皮も十分厚いので、大きく心配はしていない！これから雨が降れば、ブドウも一気に水分を溜めこみ、均一に成熟していくだろう。最後には 2009 年のような素晴らしいブドウになることを願っている！



ヴェレゾンはまばらな状態



猛暑で雑草が枯れている

★ジャン・フォワヤール

今年の収穫日は今のところ 9 月 1 日頃を予定している。

6 月中旬の大雨以来、雨はほとんど降っていない。幸い我々の畑は、ヌーヴォーとはいえ樹齢が 50 年を超えるものが多いので、今年のような大干ばつにも辛うじて耐えているが、もし 8 月も 7 月と同じような猛暑が続けば、大幅な収量減を覚悟しなければならぬかもしれない…。ブドウは去年の半分ほどの大きさで、果皮が厚くジュースが少ない。2015 年の猛暑は、7 月後半から始まった 2003 年の猛暑よりも 1 ヶ月半早く、しかもかなりの水不足のため、同じ猛暑でも性質が異なる。ブドウの成長サイクルに当てはめると、2003 年はある程度水の貯蓄があ

る中で8月から一気にブドウが熟し収穫したのに対し、2015年は全く逆。7月上旬までの成長は早かったが、長引く水不足と猛暑の影響で、ヴェレゾンの時期から成長にブレーキがかかっている。しかし今年は幸いにもブドウの果皮が厚く、ほとんど傷んでいないので、とにかくこれから雨がしっかりと降り、ブドウの成長サイクルが正常に戻ることを祈っている。



ブドウは小粒で綺麗な状態



雨が降りそうな気配はあるが・・・

★フレデリック・コサル&ケヴィン・デコンブ

今年の収穫日は今のところ9月4日頃を予定している。

7月の猛暑の影響で、フランス全土が悲鳴を上げ始めている。ブルゴーニュもかつてない暑さだが、ボジョレーはさらに暑い印象だ。今年のブドウは、今のところ房が小さい上に果皮が厚く果汁が少ない。日照り対策として、垣根の間にわざと雑草を残し、地中の水分の蒸発を防ごうと試みたが、焼け石に水…その雑草まで干上がってしまう始末。当初の予定では、ひとりの生産者からのブドウだけで間に合うと計算していたが、このまま猛暑が続くと収量が減りブドウが足らなくなる恐れがあるため、急遽ケヴィンの友人であるモルゴンの丘の標高の高い場所に畑を持つピオの生産者にブドウの供給をお願いすることにし、何とか確約をもらうことができた。これにより、収量はもちろん品質の面でも、高いレベルのワインの仕上がりが期待できそうだ！

ただ、経験上猛暑の年は注意しなければならないことがあり、それは猛暑の時のブドウは発酵が往々にして進まないことだ。見た目がきれいで完璧なブドウでも、自然酵母が少ないためか、発酵が途中でブロックしてしまうことが良くある。今年は予めその辺りも念頭に入れて醸造には細心の注意を払うつもりだ！



雑草効果に期待したのだが・・・



満遍なく色づいているブドウ

2015年ミレジムを決めるこれからのキーポイントは必ず「雨」！収量、品質共に8月の天候が大きく左右しそうだ！次回はいよいよ収穫レポート！果たしてどのような結末が待っているのか、乞うご期待！

2015年8月4日訪問レポート

ボジョレー速報 2015 年

今年もボジョレーヌーヴォーの季節がやってくる！

2014 年は、中盤から天候が崩れ、このままで悪天候が続くと 2012 年、2013 年よりも不作なのは！？と誰もが心配をしたのだが、最後の最後で奇跡とも思われる天候に恵まれ、まるでドラマを見ているようなブドウの回復劇があった。

さて、2015 年は、今のところブドウの生育が順調で、病気ひとつなく開花も全て問題なく終わり、幸先の良いスタートを切っている！ブドウのひとつひとつにも艶があり、近年の不作を吹き飛ばすかのようなエネルギーを感じる！このまま天候に支障がなければ、ビックヴィンテージになる可能性は十分にありそうだ！

★カリーム・ヴィオネ

2015 年は、ヌーヴォーの当たり年となる可能性が高く、日照量の多かった 2009 年を彷彿させる！

ランシエのヌーヴォーの畑は、未だかつてないほど均一にブドウが付いている。ブドウの実に蛾の被害が多少あるが、その実も全て乾ききって健全な房だけが残っている！

今年は、春のスタートから順調で、4 月から雨がほとんど降らず、空気が乾燥していたおかげでブドウの病気が全くない。畑の散布も今のところ硫黄を 2 回撒いただけ。去年のこの時期はすでに 5 回は散布しているので、半分にも満たない量でブドウの病気対策ができています。開花は 6 月頭から始まり、ものの 2 日で全ての花が咲き終わった。このままのペースで行くと収穫開始は 9 月の頭、もしかしたら 8 月下旬ということも十分あり得る！

また、今年は、品質向上と醸造の管理を高めるために、カーヴ内に全てエアコンを設置し、醸造タンクは古いセメントタンクからファイバータンクに変わる。さらに去年の終わりに新しく設置した、ブドウを 10 度以下まで冷やす冷蔵庫を稼働させる予定で、暑い日の収穫にも万全の対策を整えている！



畑について語るカリーム！



地面は非常に乾燥している

★ジャン・フォワヤール

今年の開花は6月1日頃から始まり、例年よりも2週間ほど早い！開花は2日であつという間に終わり全てうまく行った。6月13日に60mmの大雨が降ったが、今のところブドウの病気は一切なく、むしろ全体的に水不足の傾向にある。

ここまでは大体2014年とペースがほとんど同じ。ただ、去年は7月中旬から天候が一気に崩れてしまったので、今の時点でビックヴィンテージと断定するのは難しいが、もしこのまま天候が崩れず乾燥した天候が続けば2009年のような当たり年、さらに猛暑が加われば、2003年のようなヌーヴォーの当たり年となり得るだろう！



順調な気候で笑顔がこぼれるジャン！



ブドウは何の問題もなく順調に生育している！

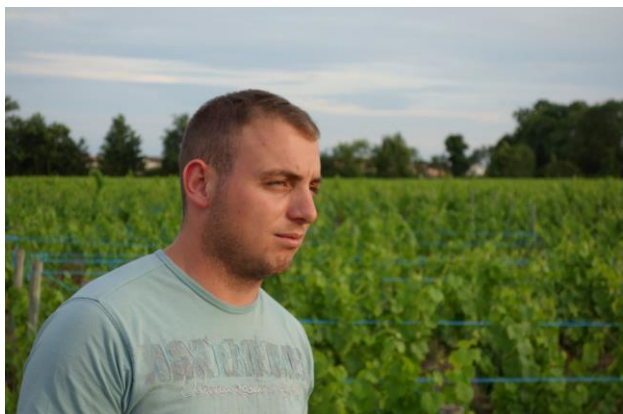
★フレデリック・コサル&ケヴィン・デコンブ

《フレデリック・コサルのコメント》

2015年は、今のところビックヴィンテージを彷彿させるような理想の天候が続いている！冬に十分な雨が降り、春は霜の被害もなく快晴の日が続き、開花も10日ほど早かった。ブドウの房も病気が一切なく輝きを放っている！このまま天候が崩れなければ、間違いなく2009年を超える素晴らしいミレジムになるだろう。

昨年ケヴィン・デコンブと一緒に新たなヌーヴォーを手掛け、初年度から果実味溢れるイメージどおりのワインをつくりあげることに成功したが、今年はこちらで満足するのではなく、よりワインの完成度を高めて行きたいと考えている。買いブドウのセレクションについては、昨年よりもエレガントで高品質なブドウを手に入れられるように、早い時期から動き出している。醸造面については、今はケヴィンがより私が望むヌーヴォーのスタイルを理解してくれているので、昨年よりも大きなアドバンテージがあると感じている。

恵まれたヴィンテージ、高品質のブドウ、ケヴィンの経験、これらが揃えば昨年以上の傑作が出来上がるだろう！



現状に満足することなく更なる高みを目指すケヴィン！



完璧な結実！

3人の話を聞くと、2015年は当たり年が大いに期待できそうだ！だが、油断は禁物！ジャンの言う通り、2014年は7月から天候が崩れ、当たり年と思われた雰囲気を一蹴した。現在、天気が良く気温が高い分、これからの突如の雷雨と雹のリスクには注意が必要だ！果たして今回はどのような朗報が待っているのか！？次のレポートもお楽しみに！

2015年6月19日、20日訪問レポート